

令和3年度 静岡市立宮竹小学校 学校だより

宮竹っ子

6月号 令和3年6月21日

スポーツデイ



6/4(金)に予定していたスポーツデイ(運動会)が、雨天のため6/7(月)に延期になってしまいましたが、無事実施することができました。昨年度は突然のコロナ禍になり、中止も考えさせられましたが、子どもたちにとって大切な行事であると位置づけ、安心、安全を第一に考え、何とか12月に延期して行うことができました。実際に実施してみて、本校の児童においては価値のある行事だと改めて実感できました。そこで、今年度は通常の時期に戻し、実施することにしました。但し、時期が早いため、体

育的要素というよりは、学級、学年の絆づくりを第一の目標として取り組みました。1年生にとっては、初めての運動会でした。どの子も短い練習の中、一生懸命に取り組み、当日はとてもかわいらしいダンスを披露してくれました。6年生にとっては、小学校生活最後の運動会とあって、それぞれが想いをもって臨んだことだと思います。6年生においては、本当に短い期間で、短期集中で組み体操を仕上げることができました。さすが、最高学年の演技でした。昨年度からコロナ禍対応のため、2学年ずつの実施にしたため、全校で見合うことができなくなってしまいました。そこで、今年は、ペア学年で事前、事後に見せ合い、6年生においては、全校に披露しました。6年生の演技を観ている下級生が、目を丸くして身を乗り出して見学をしている姿がとても印象的でした。コロナ禍になり、今までのようにいかないことが多くなりましたが、他の行事でも、その時に応じて対応を工夫していきたいと思います。当日の参観においては、事前にお配りしたカードの提出など、いろいろご迷惑をおかけしましたが、御理解、御協力ありがとうございました。皆様のおかげで、スムーズに進行することができました。

子どもの体力

スポーツデイでの子どもたちの姿を見ていると、昔の子どもたちと比べ、走力がかなり落ちていると感じました。ここでも、コロナ禍の影響はあると思いますが、実際は、そればかりでもないようです。文部科学省の調査によると、昭和39年から行っている「体力・運動能力調査」では、子どもの体力・運動能力は、調査開始以降昭和50年ごろにかけては、向上傾向が顕著であったが、昭和50年ごろから昭和60年ごろまでは停滞傾向にあって、昭和60年ごろから現在まで15年以上にわたり低下傾向が続いています。

一方で、身長、体重など子どもの体格は向上しており、文部科学省が毎年実施している保健統計調査によると、現在は身長も体重もほぼ伸びが止まっているものの、平成13年と親の世代である昭和46年(30年前)とを比較すると、11歳男子の平均身長4.5cm、14歳男子で4.6cm、17歳男子で2.6cm親の世代を上回っているそうです。このように、体格が向上しているにもかかわらず、体力・運動能力が低下していることは、体力の低下が深刻な状況であることを示しています。体を自分の意志で動かす行為は、神経系をはじめとする体の発達に伴って、高度なものになります。しかし、近年では、子どもが靴のひもを結べない、スキップができないなど、体を上手にコントロールできない、あるいはリズムをとって体を動かすことができないといった、身体を操作する能力の低下が指摘されています。このようなことから、子どもたちには、外で元気よく遊んだり、積極的に運動をしたりして、体力をつけて欲しいと思います。6月は、水泳も始まります。

校長 山崎 元靖